

総合型地域スポーツクラブの今後の在り方に関する提言概要

現状・課題等

平成28年11月11日 総合型地域スポーツクラブの在り方に関する検討会議

➤ 社会の状況

- ・ 少子高齢化の進行、人口の減少、市町村合併によるコミュニティへの影響
- ・ 地方創生や一億総活躍社会などの政府の施策

➤ 地域におけるスポーツ環境

- ・ 人口減少や少子化によるスポーツ団体や運動部活動におけるチームスポーツ種目の活動等への支障の危惧
- ・ 地方公共団体の厳しい財政状況による公共スポーツ施設数減少への懸念
- ・ 学校体育施設や廃校施設、余裕教室の有効活用の必要性

➤ 総合型クラブ

- ・ 3,550クラブが全市区町村の80.8%に育成
- ・ 住民のスポーツ実施や地域社会への参画の促進、多様なニーズに応える取組やスポーツを通じた地域課題解決等の効果
- ・ 自己財源や活動場所の確保、PDCAサイクルの定着、行政と連携した地域課題解決の取組の実施、公的支援対象となるクラブの明確化等が課題
- ・ 広域スポーツセンターとクラブアドバイザーとの関係や役割の整理をはじめ、総合型クラブへの支援体制の役割分担や連携体制について整理する必要性

総合型クラブが、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会以降も地域におけるスポーツの推進エンジンとなり、持続的に成長していくための提言

今後の基本的方向性と具体的方策等

■ 総合型クラブが多様な主体と連携・協働して果たしていくべき役割

1. 地域におけるスポーツ環境の持続的発展への寄与

- ✓ 住民が種目を超えてスポーツを楽しみ、支える環境の形成を通じて、人口減少・少子高齢化社会において、多様なスポーツ種目に親しめる環境づくり

2. スポーツを通じた地域の課題解決に向けた取組の推進

- ✓ 総合型クラブの特徴を生かして、スポーツを通じた地域課題解決に取り組み、「社会的な仕組み」として定着
- ✓ 運動・スポーツによる介護予防、放課後児童クラブ・子供教室でのスポーツ機会の提供、部活動で実施が困難な種目のスポーツ機会の提供等の重要性

■ 総合型クラブの自立的な運営に向けた基盤づくり

3. 総合型クラブの自立的な運営に向けた「質的充実」

- ✓ 多様な財源確保や会員同士が支える体制の強化、PDCAサイクルの定着など、持続可能な運営体制の構築に必要なクラブマネジメント
- ✓ 公益的な事業体としての役割を果たしていくための登録・認証等の制度の整備の必要性

4. クラブ間ネットワークの充実・強化等

- ✓ クラブ間ネットワークの充実・強化により、クラブ間の資源の共有・相互補完や運営者同士の情報交換・学び合いの場を創出

■ 総合型クラブへの支援体制、地域スポーツの推進体制

5. 総合型クラブへの支援体制の再構築等

- ✓ 地域におけるスポーツ環境の持続的発展、スポーツを通じた地域の課題解決に向けた支援について、行政が中心となり担う必要性
- ✓ 総合型クラブの自立的な運営の促進などの「質的な充実」に向けた支援について、スポーツ団体が中間支援組織として役割を担う必要性
- ✓ 中間支援組織は、各都道府県において体育協会が主体となり、総合型クラブ連絡協議会を基盤として組織体制を充実・強化した組織（総合型クラブネットワーク(仮称)）と連携・協働して運営

6. 地域におけるスポーツ推進体制の見直し

- ✓ 特に急速な人口減少・少子高齢化が見込まれる市町村において、地域スポーツを一体的に担う体制について協議・検討の必要性
- ✓ スポーツを通じた健康増進・地域活性化等を含め一体的に担える事業体として再構築する観点から、スポーツ以外の領域を含めた協議・検討の可能性

「100年続くクラブづくり」に向けて将来的な実現可能性を検討していくことが望まれる姿

- ・ 住民の主体的な協働によるスポーツの推進を支える次世代の人材の持続的な育成
- ・ 公益性に根ざした形で収益を生み出し、住民や行政等の理解を得て発展していく姿
- ・ 住民が身近な場でスポーツに親しめる環境づくりに向けた学校体育施設開放の在り方
- ・ スポーツ施設以外の多様なスペースを活用してスポーツを楽しむことができる環境づくり
- ・ クラブ間ネットワークの役割を強化していくためのエリアマネジャー設置